





# 審査結果報告書

2020年9月1日

主査	氏名	宮地 鏡	
副査	氏名	丸岡 信行	
副査	氏名	青山 直善	
副査	氏名	高橋 倫子	

1. 申請者氏名 : 石田 弘毅

2. 論文テーマ : Serial optical coherence tomography assessment of malapposed struts after everolimus-eluting stent implantation. A subanalysis from the HEAL-EES study  
(エベロリムス薬剤溶出ステント留置後の圧着不良ストラットのベースラインとフォローアップの光干渉断層法による評価～HEAL-EES スタディのサブ解析)

3. 論文審査結果 :

薬剤溶出ステント (DES) 血栓症のリスクファクターとなるステント圧着不良 (ISA) の第二世代 DES であるエベロリムス薬剤溶出性ステント (EES) における経時的変化を光干渉断層法 (OCT) にて評価した研究である。

第二世代 DES の EES を用いた PCI を行った患者の OCT 解析では、ISA のフォローアップ時、ベースラインと比較して有意に減少していた。また、フォローアップ期間 6 カ月群、9 カ月群、12 カ月群の 3 群間では、有意な差を認めなかった。この結果はステント留置時の圧着不良は 6 カ月のフォローアップ時点で、ほとんど改善することを示している。このように第二世代の DES の安全性をはっきりとした画像として明らかにしたことは、学位論文として相応しいものであると考える。